

令和6年度 中学3年 シラバス

□科目	道徳			
□授業時数	1時間 /週			
□教材	自分をのぼす3（廣済堂あかつき），中学生の道徳ノート3（廣済堂あかつき）			
□学習到達目標	<p>○より高い目標に向かってねばり強く取り組み，理想の実現を目指す。</p> <p>○人間尊重の精神を基盤に，他者に対して思いやりと寛容の心をもって接する。</p> <p>○人間としての最低限の規範意識を身につけ，積極的な社会参画の自覚を深める。</p> <p>○生命を尊重するとともに，心の弱さや醜さを克服して，自分に恥じない生き方をする。</p>			
□成績評価基準	年間を通じた授業態度，道徳ノートやワークシート等の提出などによって総合的に評価する。			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・リクエスト ・スダチの苗木 	<p>自分たちの軽はずみな行為を悔やむ伊藤君たちの心情を共感的に理解することを通して，自律的な判断と責任の大切さに気付き，自主的によく考えて判断し，行動の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。</p> <p>両親の苦勞を知って心を震わせる筆者の心情を共感的に理解することを通して，自分を育ててくれている家族の愛情の深さに気付き，家族を敬愛して，家族の一員としてよりよい家庭生活を築こうとする道徳的態度を養う。</p>	<p>責任ある判断</p> <p>家族の深い愛情</p>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・山寺のびわの実 	<p>さえと竹庵の話聞いて，深々と頭を下げる甚太の心の変化について考えることを通して，寛容で謙虚な心のよさや大切さに気付き，相手の個性や立場を尊重し，いろいろなもの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。</p>	寛容で謙虚な心
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・優しいうそ ・監督がくれたメダル ・卒業文集最後の二行 ・ぶれない心ー松井 秀喜ー 	<p>交通事故による苦難を乗り越え，「語り部女優」として復帰を決めた筆者の生き方について考えることを通して，勇気と希望をもって生きることの大切さに気付き，より高い目標に向かって，困難や失敗を乗り越えていこうとする道徳的実践意欲を培う。</p> <p>監督やYとのやり取りを通じて，嫌だったノックを丁寧に打つようになった筆者の心の変化について考えることを通して，自己の所属する集団の意義や自らの役割を理解し，責任を自覚して集団生活の充実に努める道徳的実践意欲を培う。</p> <p>T子さんへのいじめを悔いる筆者の心情について考えることを通して，愚かないじめを引き起こす人間の弱さや醜さに気付き，差別や偏見，いじめや不正な言動を断固として許さない道徳的態度を養う。</p> <p>自分で考え，工夫しながら努力を積み重ねてきた松井秀喜さんの生き方について考えることを通して，自己を見つめ，自己の向上を図っていこうとする道徳的実践意欲を培う。</p>	<p>希望をもって生きる</p> <p>役割と責任の自覚</p> <p>いじめを許さない心</p> <p>自己の向上を図る</p>
	7月			
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり ・アイツの進路選択 ・母と子のロードレース 	<p>美しい景色を目にしたことをきっかけに，絶望を乗り越え，誇りをもって生きようとする筆者の生き方の変化について考えることを通して，自らの弱さや醜さと戦い，自己を奮い立たせて，生きる希望や喜びを見出す道徳的心情を育む。</p> <p>進路選択をめぐる真一と夏樹の思いを共感的に理解し，よりよい関係を築いていくことについて考えることを通して，異性間においても信頼と敬愛の念に基づき，互いを向上させていける人間関係を築いていく道徳的態度を養う。</p> <p>アスリートとしてのリスクを省みず，母への生体肝移植を行いながらも，ロードレースに挑戦し続けた宮澤崇史さんの思いについて考えることを通して，家族からの支えや無私の愛情に気付き，家族の一員としての自覚をもって，互いに支え合う家庭生活を築いていく道徳的実践意欲を培う。</p>	<p>生きる希望と喜び</p> <p>信頼と敬愛の念</p> <p>支え合う家族の絆</p>

令和6年度 中学3年 シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10月	・元さんと二通の手紙	二通の手紙を受け取った元さんが「この年になって初めて考えさせられること」について考えることを通して、法やさまりの意義を理解し、それらを進んで守り、規律ある安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。	法やさまりの意義
	11月	・虹の国—ネルソン・マンデラー—	ネルソン・マンデラーが目指した社会の在り方について考えることを通して、無知から生まれる偏見や不寛容な心など人間の弱さや醜さに気付き、正義と公正さを重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	差別や偏見のない社会の実現
	12月			
	1月	・運命の木—姫路城の大柱— ・海と空—樫野の人々—	姫路城の大柱に込められた人々の思いを共感的に理解することを通して、先人の残した伝統文化の大切さに気付き、我が国の優れた文化の継承と文化の創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。 エルトゥールル号の話を知った「私」の思いについて考えることを通して、国際的な相互扶助のよさや大切さに気付き、世界の平和と人類の発展のため、他国の人々と支え合い、助け合おうとする道徳的実践意欲を培う。	伝統文化を守り受け継ぐ 国と国との友好の絆
	2月	・招集通知—あなたが裁判員になるとき—	みんなの話を聞いた恵美が気付いたことについて考えることを通して、主体的に社会と関わることの大切さに気付き、社会参画の意識と社会連帯の自覚を深め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	社会参画
	3月			